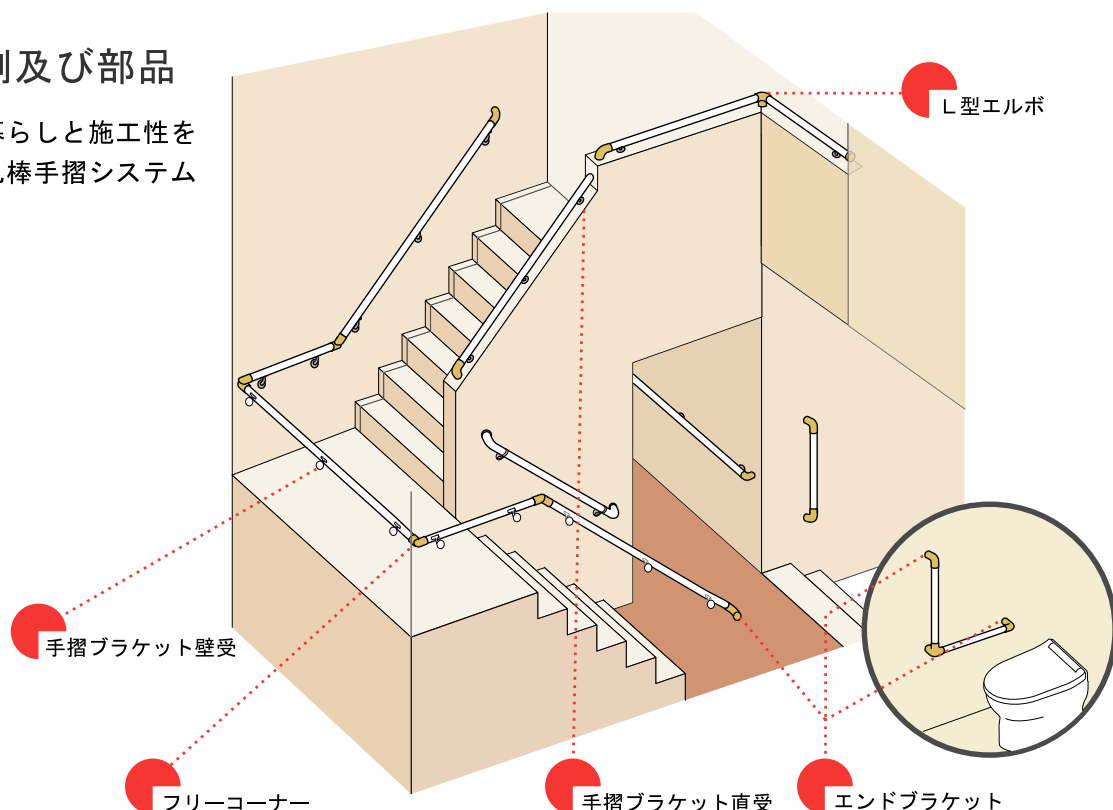


手摺使用例及び部品

安全で快適な暮らしと施工性を考慮した連続丸棒手摺システム



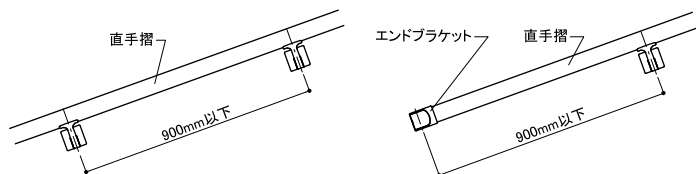
施工条件

完成した手摺が十分な強度をもつように必ず次の条件を守って下さい。

(1) 壁下地について

ブラケットを固定する下地は、12mm以上の合板貼など丈夫なものとして下さい。石膏ボードや薄い合板の下地では、ネジが十分に効かないので脱落するおそれがあり危険です。

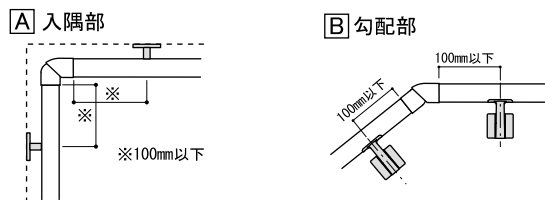
(2) 手摺を支えるブラケットの間隔は900mm以下として下さい。



⚠️ ご注意

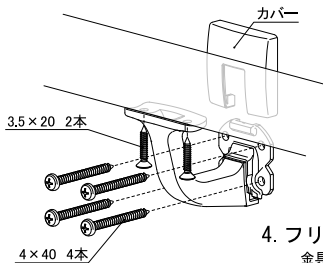
手摺は、ブラケットを用いて900mm以下の間隔で固定してください。手摺や取付け金具に無理がかかり、破損するおそれがあります。

(3) フリーコーナーを取付ける場合。

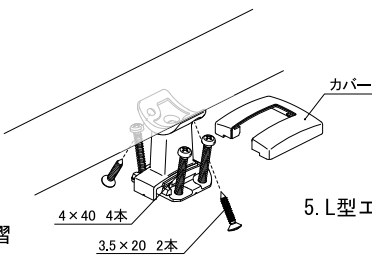


(4) 「ブラケットと壁」「ブラケットと手摺」は同梱のネジで止め忘れのないように、確実に固定して下さい。

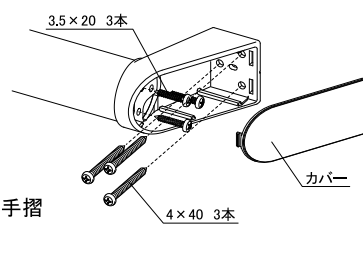
1. 手摺ブラケット壁受と壁及び手摺



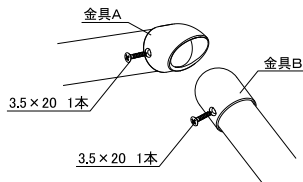
2. 手摺ブラケット直受と笠木(壁)及び手摺



3. エンドブラケットと壁及び手摺



4. フリーコーナーと手摺



5. L型エルボと壁及び手摺

